

この現品説明書をよく読んでから使用して下さい

2015 年 4 月作成
Code 468-61701

血清マルチキャリブレーター

〔はじめに（使用目的）〕

本品は、当社のクレアチニン、尿酸、尿素窒素、グルコース、総蛋白、アルブミン、カルシウム、マグネシウム、無機リン、鉄及び不飽和鉄結合能（UIBC）濃度測定の見量用試料です。
本品は当社の各測定試薬と共に使用して下さい。

〔内 容〕

血清マルチキャリブレーター 2mL×6
（ヒト血清）
〔表示値はロットごとに異なります。〕

〔表示値の設定〕

本品は、下記に示す標準物質と方法により設定した表示値を記載しています。

〔使用方法（調製方法）〕

本品を使用前日に 2～10℃の冷蔵庫内に放置するか、又は使用当日（少なくとも使用 1 時間前に）常温に戻し自然融解（加温融解厳禁）させて下さい。融解後、穏やかに転倒混和し、血清を完全に均一にしてから使用して下さい。
使用後は乾燥しないように密栓して、2～10℃保存で 1 か月間使用出来ます。

〔使用上又は取扱い上の注意〕

＜使用に際しての注意＞

(1) この現品説明書に記載された使用方法に従って使用して下さい。また、当社の各測定用試薬の添付文書も併せて参照して下さい。

- (2) 本品は指定された条件で保管し、使用期限を過ぎたものは使用しないで下さい。
(3) 本品はこの現品説明書に記載されている用途以外には使用しないで下さい。
(4) 本品の容器は他の目的に転用しないで下さい。

＜危険防止に関する注意＞

- (1) 本品が誤って口や目に入ったり、皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水で洗い流し、必要があれば医師の手当等を受けて下さい。
(2) 本品はヒト血清成分を使用していますので、ウイルス感染等の危険性があるものとして、検体と同様に十分注意して取り扱って下さい。なお、本品は HBs 抗原、HIV-1/HIV-2 抗体及び HCV 抗体検査を行い、陰性の結果を得ています。

＜廃棄に関する注意＞

- (1) 廃棄に際しては廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）及び排水基準に従って適切に処理して下さい。
(2) 本品は防腐剤としてアジ化ナトリウムを 0.09%含有しています。アジ化ナトリウムは、銅や鉛などの重金属と結合してアジ化物を形成します。重金属のアジ化物は、乾燥状態で衝撃により爆発する性質がありますので、排水後は排水管に残留しないように十分量の水で洗い流して下さい。

〔貯蔵方法・有効期間〕

- (1) 貯 法 ー 20℃以下保存
(2) 使用期限 外箱及びラベルに記載

〔包装単位〕

| （コード番号） | （品 名） | （包 装） |
|-----------|---------------------------------|-------|
| 468-61701 | 血清マルチキャリブレーター （表示値はロットごとに記載） | 2mL×6 |

〔問い合わせ先〕

富士フイルム 和光純薬株式会社
臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目 4 番 1 号
Tel：03-3270-9134（ダイヤルイン）

表示値

Lot No. EK560

| 項 目 | 略 名 | 測 定 方 法 | 表 示 値 | 基 準 |
|---------|------|----------------|------------|-----------------------------|
| クレアチニン | CRE | 酵素法 | 5.1 mg/dL | JCCRM 521 (ReCCS) |
| 尿酸 | UA | 酵素法 | 9.8 mg/dL | JCCRM 521 (ReCCS) |
| 尿素窒素 | UN | 酵素法（アンモニア消去法） | 30.1 mg/dL | JCCRM 521 (ReCCS) |
| | | 酵素法（アンモニア非消去法） | 32.1 mg/dL | SRM 912 (NIST) |
| グルコース | Glu | 酵素法 | 301 mg/dL | JCCRM 521 (ReCCS) |
| 総蛋白 | TP | ビウレット法 | 7.13 g/dL | SRM 927 (NIST) |
| アルブミン | Alb | BCG 法 | 4.75 g/dL | ERM-DA470 (IRMM) |
| | | BCP 改良法 | 4.67 g/dL | |
| カルシウム | Ca | 酵素法 | 10.2 mg/dL | JCCRM 321 (ReCCS) |
| | | MXB 法 | 10.0 mg/dL | JCSS 標準液 (CERI) (カルシウム標準液) |
| | | OCPC 法 | 9.8 mg/dL | |
| マグネシウム | Mg | 酵素法 | 4.9 mg/dL | JCCRM 321 (ReCCS) |
| | | キシリジルブルー法 | 4.9 mg/dL | JCSS 標準液 (CERI) (マグネシウム標準液) |
| 無機リン | IP | 酵素法 | 9.9 mg/dL | JCCRM 324 (ReCCS) |
| | | モリブデン酸直接法 | 10.0 mg/dL | JCSS 標準液 (CERI) (りん酸イオン標準液) |
| 鉄 | Fe | バソフェナントロリン直接法 | 219 µg/dL | JCCRM 322 (ReCCS) |
| 不飽和鉄結合能 | UIBC | バソフェナントロリン直接法 | 183 µg/dL | JCSS 標準液 (CERI) (鉄標準液) |

* ReCCS：一般社団法人 検査医学標準物質機構（Reference Material Institute for Clinical Chemistry Standards）
* NIST：National Institute of Standards and Technology
* IRMM：Institute for Reference Materials and Measurements
* JCSS：計量法校正事業者登録制度（Japan Calibration Service System）
* CERI：一般財団法人 化学物質評価研究機構（Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan）